

大津皇子の竊かに伊勢の神宮に下りて上り来ましし時に大伯皇女の作りませる歌二首	
吾勢祐乎 倭邊遣登 佐夜深而 鶏鳴露尔 吾立所霑之 わが背子を 大和へやると 小夜更けて 暁露に 我が立ち濡れし わがせこを やまとへやると さよふけて あかときつゆに わがたちぬれし 大切な弟を 大和へ見送ると 夜が更けて あかつきの露に ずっと立っていて濡れてしまった Brother, seeing you off for Yamato, I stood all night watching after you till I was drenched in the dawn dew.	
英文はマクミラン(2019)による	万葉集 卷二 105 大伯皇女

【文献】

ピーター・J・マクミラン(2019): 英語で味わう万葉集. 文春新書 1245